

| 議員全員協議会会議録    |                                                                                                                    |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 開会日         | 令和7年6月16日 午後1時30分 開会<br>午後3時28分 閉会                                                                                 |
| 2 場 所         | 第1委員会室                                                                                                             |
| 3 出席議員        | 吉川 重雄 二宮加寿子 橋本 秀彦 鈴木たまよ<br>亀倉 弘美 玉虫志保実 竹内恵美子 鈴木 京子<br>石川 則男 清田 文雄 高橋 英俊 毛利 泰輔<br>おかみゆき 庄子 幸太                       |
| 4 説明員         | 町側出席者<br>池田東一郎 町長、鈴木一男 副町長、府川陽一 教育長<br>藤本道成 参事（政策担当）、佐野慎治 政策総務部長、加藤敦 教育部長<br>大槻直行 消防長、内田孝幸 署長、原敬久 副署長<br>小林英文 総務課長 |
| 5 職務のため出席した職員 | 局 長 岩本 清嗣<br>書 記 秋本 篤史                                                                                             |
| 6 その他         | 一般傍聴 1名                                                                                                            |

## ■町長あいさつ

- ・ 6 月議会定例会での議案審議に感謝。

## ■町報告事項

### (1) マイナ保険証を活用した救急業務の円滑化に係る実証事業について

- ・ マイナンバーカード（マイナ保険証）を救急現場で活用し、搬送先病院の選定等をより円滑に行うことを目的とした実証事業
- ・ 総務省消防庁が主導し、全国の消防本部と連携し進めている。
- ・ 令和 6 年度から事業が開始され、すでに 35 都道府県 67 消防本部、660 隊の救急隊が参画。
- ・ 大磯町消防署及び国府分署の 2 隊が参画し、10 月頃開始予定。
- ・ 期待する効果・・・傷病者の負担軽減、症状やマイナ保険証から得られた情報から総合的に判断し、傷病者の病態に適した搬送医療機関の選定が行える。

### ※主な質疑

- ・ マイナ保険証の場合、医療情報にタイムラグがあると聞いているが、どう対応するのか。  
⇒タイムラグは承知している。救急サマリーが見られ、過去の病歴や服用薬がわかるので、通っている病院等が把握できれば、情報が搬送先の医療機関に伝えられて迅速な活動に繋がると考えている。
- ・ 令和 6 年度の実証実験結果は、総務省消防庁のホームページなどで見られるか。  
⇒まだ実証実験中のため、結果までは発表されていない。

## ■議題

### (1) 各委員会等の行事報告・予定について（別紙）

### (2) 主な報告事項

#### ① 委員長等からの報告

##### ○議会運営委員会 高橋委員長

5 月 27 日（提出予定議案について・提出された陳情の取扱いについて・一般質問の時間割について）

##### ○総務建設常任委員会 竹内委員長

5 月 19 日 勉強会（調査・研究テーマについて）

##### ○福祉文教常任委員会 清田委員長

5 月 16 日 協議会（いじめ重大事態の状況について）

5 月 21 日 協議会（旧吉田茂邸運営支援事業について・大磯式部活動の状況について）

6 月 6 日 委員会（陳情第 10 号・第 11 号及び第 13 号の審査）

##### ○議会だより編集委員会 庄子委員長

5 月 15 日（第 222 号の反省について、第 223 号の編集日程について、掲載予定記事について）

6 月 5 日（第 223 号の割付について、第 223 号の記事分担について）

##### ○第二次新庁舎整備事業特別委員会 竹内委員長

5 月 16 日 委員会（新庁舎整備事業の今後の方針について）

#### ② 監査委員からの報告 玉虫監査委員

5 月 20 日 住民監査請求 第 2 回監査委員協議会

5 月 26 日 神奈川県町村等監査委員協議会 定期総会、研修会

- 5月29日 定期監査(生涯学習課)  
例月出納検査(4月分)
- 5月30日 住民監査請求 関係課陳述会
- 6月4日 住民監査請求 第3回監査委員協議会
- 6月9日 住民監査請求 第4回監査委員協議会
- ③ 5月16日 神奈川県町村議会議長会 5月役員会・臨時総会 吉川議長
- ④ その他

### (3) 協議事項

#### ① 議会報告会のまとめについて

※5/11・5/13に開催した議会報告会の記録のまとめ及び町政に対する意見・要望・提言について、議会報告会推進委員会委員長から提案され、協議の結果、承認された。

#### ② 意見書案の提出について

○石川議員から、6/17の本会議に「意見書」の提出をしたい旨の申し出があり、協議した結果、2人以上の賛成者(提案者含)があるため承認された。

<内容>「子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」

<提案理由>6/6福祉文教常任委員会で審議した陳情第13号の採択を受けて提出する。

<提出者>石川議員

<賛成者>亀倉議員、玉虫議員、庄子議員

※先例によると、提出者は審査した常任委員会委員長、賛成者は採択に賛成した委員としているが、委員長から提出者を辞退したいとの申し出があったため、提出者を石川議員とした。

○二宮議員から、明日の本会議に「意見書」の提出をしたい旨の申し出があり、協議した結果、2人以上の賛成者(提案者含)があるため承認された。

<内容>「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」

<提案理由>日本が女性差別撤廃条約を批准してから40年になるが、日本における女性の権利をめぐる状況は改善しているとは言えない状況。男女平等、すべての人の人権が尊重される社会実現のために、国に強く要望したく意見書を提出したい。

<提出者>二宮議員

<賛成者>橋本議員、鈴木たまよ議員、亀倉議員、玉虫議員、鈴木京子議員、庄子議員

#### ※主な質疑

・昨年も提出した意見書だと思うが、中身について変更された部分はあるか。

⇒基本的に変更はないが、女性差別撤廃条約を批准してから40年という節目の年でもあることから、国にしっかり対応していただきたいと強く要望したい。

※議長から、以上の2件の意見書案の本会議での取扱いについて、議会運営委員会にて協議するよう指示があった。

#### ③ その他

○毛利議員から、第二次新庁舎建設事業特別委員会(5/16)の資料の件について質問があり、意見交換した。

- ・資料の中にノジマスクエアの件が参考として入っていたが、政策会議にも通っていないようなものが、なぜ特別委員会の資料に入っていたのか疑問。
  - ・「代替案」ではなく、「参考案」だと町側に確認した。すでに、町民が話題にしている中で、議会がそれを知らなかった、という状況は作らないほうがいいと判断した。特別委員会では、あくまでも参考であって、議論の対象にはしませんよ、とはっきりさせたと思う。
  - ・議論しないと委員長が言ったが、資料があるのに聞いてはいけないのかとの質問が出て、結局、質疑した。
  - ・町長が1度計画を止めたが、そのときに2年間をかけて代替案を作ればよかったのに作らなかった。ここにきて、参考という形であったとしても、20億円の根拠も示さず、まして、民間の建物を買うとか買わないとか、相手がいることだから無理がある。参考であったとしても受けるべきではなかったと思う。
  - ・職員も、働き方改革しようという中で、強要めいたことをされること自体が非常に問題だ。
  - ・特別委員会の資料は議会の資料であることを理解する必要がある。
  - ・根拠のない議論をしなければならないのか、ということが一番の問題。
  - ・計画のないもので、実現性が非常に低いもの、または非常に疑わしいものに関しては、入れるべきではない。
  - ・参考で議論はしない資料を入れることは、議会の中であってもいけないことではないか。
  - ・計画ではないもの入れ込むことは、議会にも町民にも混乱を招いてる。
  - ・議会は言論の府だから言論（質問）を封じることがあってもいけない。
  - ・町長の提案に対して審議する立場。
  - ・ノジマに期待した町民が気の毒だとも思う。
- 議長）今後こういうことが起こらないよう、皆様の意見は行政に伝える。

#### （4）事務局からの報告

##### ① 行政視察の受入れについて

○7月10日（木）午前9時30分 宮城県・松島町議会・教育民生常任委員会  
（議員7名＋副町長）

（「子育てでみんなわくわく大磯」について、こどもまんなか応援サポーターの取り組みについて等  
二宮副議長、子育て支援課・都市計画課）

○7月30日（水）午後 愛知県・尾張旭市議会・福祉文教常任委員会（議員7名）  
（「大磯式部活動」の取り組みについて、新議長、学校教育課）

##### ② ラインワークスの活用について

- ・活用方法・・・改めて日常の使用方法について情報共有した。
- ・安否確認（訓練）・・・プリインストールされている「安否確認」フォームを使用し、訓練を実施。使用方法の習熟に努めた。

##### ③ その他

- ・広報おいそ6月号お知らせ版について

6月定例会の日程の掲載を失念した。代替として町担当の許可を得て、おいそ防災・行政ナビに掲載した。これを機に次回以降も、継続して掲載していく予定。

・臨時会について

6月19日、第二次新庁舎整備事業特別委員会勉強会の予定だったが委員会に変更。

臨時会を7月1日に招集し新庁舎に係る補正予算を提出したいと町から打診があったため、特別委員会終了後、議会運営委員会を開催する予定。

※主な質疑

・特別委員会で要求水準書の変更について説明があるのか。

⇒まだ決まっていないとのこと。特別委員会では補正予算の説明と聞いている。

・委員会となると、正副委員長との資料調製はするのか。

⇒通常、常任委員会等の資料配布は1週間前としているが、機関決定（政策会議）が6/17の定例会終了後とのことで、委員長の了解を得て、資料は18日に配布される予定。

(5) その他

なし

※次回の議員全員協議会は、7月16日(水)午後1時30分から開催

---